



第6期幸区区民会議第9回専門部会 ～魅力発信でつなぐ まちの活性化部会～ 議事次第

日時 2017年8月1日(火) 18時半から
場所 幸区役所4階第3会議室

1 開会

2 議題

- (1) 発信していく地域の魅力について
- (2) 発信に向けた調査についての確認について
- (3) 第4回区民会議報告内容等の検討について

3 その他

4 閉会

≪配布資料≫

- 資料1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ
資料2 発信する魅力(子育て支援が充実したまち幸)について
資料3 発信していく幸区の魅力について
資料4 魅力発信に向けた今後の調査審議について
資料5 第6期幸区区民会議(第4回)における部会報告内容について(案)

参考資料1 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて

参考資料2 第8回専門部会(魅力発信でつなぐ まちの活性化部会)会議録

参考資料3 第6期幸区区民会議委員・参与名簿

《第9回専門部会(魅力発信でつなぐ まちの活性化部会)獲得目標》

- ・発信していく地域の魅力についての確認
- ・発信に向けた調査についての確認
- ・「第4回区民会議」報告内容等の検討

「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ

年度	月日	会議名	会議の獲得目標
2016年度	7月28日	第1回区民会議	
	10月5日	第1回部会	・審議テーマの選定 ・正副部会長の選出 ・部会名の検討
	10月27日	第2回部会	・部会名の決定 ・今後の取組の方向性の決定
	11月24日	第2回区民会議	
	12月15日	第3回部会	・今後の調査内容、方法の確認
	1月31日	第4回部会	・地域資源の調査に向けた調査項目及び調査当日の役割分担等の決定
	2月27日	第5回部会	・第5回部会までに実施した調査実施状況の振り返り ・「第3回区民会議」報告内容等の検討
	3月21日	第3回区民会議	《調査審議状況の報告》
2017年度	4月25日	第6回部会	・地域資源の調査結果の検証① ・今後の調査についての確認①
	5月26日 (金)	第7回部会	・地域資源の調査結果の検証① ・発信していく地域の魅力についての確認① ・今後の調査についての確認②
	6月27日 (火)	第8回部会	・現地調査結果の検証 ・発信していく地域の魅力についての確認②
	8月1日 (火)	第9回部会	・発信していく地域の魅力についての確認③ ・発信に向けた調査についての確認① ・「第4回区民会議」報告内容等の検討
	9月7日 (木)	第4回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・調査内容及び実施状況の中間報告
	9月19日 (火)	第10回部会	・発信に向けた調査についての確認② ・魅力発信の内容及び方法の検討①
	10月	第11回部会	・魅力発信の内容及び方法の検討② ・提言内容の検討①
	11月	第12回部会	・提言内容の検討②
	12月	第13回部会	・提言内容のとりまとめ ・フォーラム実施内容の検討
	1月	第14回部会	・「第5回区民会議」報告内容等の検討
	2月・3月	第5回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・部会提言内容の報告、区民会議フォーラムの実施内容の確認
			第6期幸区区民会議フォーラムの実施
	2018年度	4月・5月	報告書のとりまとめ
6月		区長へ報告書の提出	

幸区の魅力（子育て支援が充実したまち幸）について

- 前回の部会では、発信する幸区の魅力について概ね合意を得られましたが、詳細の内容について、不安な部分がある（特に子育て支援の部分）ということでしたので、保健福祉センター地域ケア推進担当に説明していただきます。

■説明の骨子

- 担当者から見た、幸区の子育て世代への魅力
 - ・ 幸区の子育て支援、環境の実態（充実しているものや不足しているもの）
 - ・ 幸区独自の子育て支援に関する魅力
 - ・ 子育て世代が本当に魅力と感じているもの
 - ・ 行政が発信しづらいなど、区民会議（市民）だからこそ発信できる魅力
- その他発信方法等について

<これまでの調査審議で出た意見>

- ・ 子育て支援センターが充実しており、子育てについて相談しやすい。
- ・ 子育て支援センターや子ども文化センターで同世代の子どもを持つ親同士の交流が生まれる。
- ・ おこさまっぷのような充実した子育て情報を得ることができる。
- ・ 幸区の子育て支援は、地域の皆さんが温かい環境で支援をやっている。手伝ってくれる地域の町内会やボランティアの人が沢山いるという環境が魅力。
- ・ 独自にボランティアが土日に開所し、多世代交流を行っている。こうした動きは他都市にもあまりない例で、幸区の強みだと思う。休日だと父親も行けるのでよいと思う（子育て支援センターふるいちば）
- ・ 子育て支援に関わる職員のレベルが高く保たれ、どこでも安定して高いサービスを受けることができる。その上で、各センターで独自性を持った取り組みが展開されている。
- ・ 子育て支援にかかわる職員、地域住民、ボランティア等の人と人とのつながりが強い。
- ・ 地域住民やボランティアの協力により恵まれた子育て支援環境が整っている。

発信していく幸区の魅力について

- 前回までの部会において、発信する魅力を「子どもも大人も、動物や自然にふれあったり、思いっきり遊べるまち幸」、「子育て支援が充実したまち幸」、「文化と商業が充実したまち幸」の3つからなる「充実した子育て支援環境と支援、文化・商業が身近にある最幸のまち・幸」と確認しました。
- 今回、それぞれの魅力の要素となる部分について、これまで出た意見等を再度文言を修正するなどして整理しました。保健福祉センター職員からの子育て支援関係の説明も踏まえ、魅力の要素について、「発信していく魅力として加えたほうがいいもの」、「発信するにあたって削除、修正したほうがいいもの」などの確認をお願いします。なお、子育て環境や文化・商業については今回追加での説明等はありませんが、気になった点等があれば意見交換の上修正をお願いします。

幸区ってこんなまち

充実した子育て環境と支援、文化・商業が身近にある最幸のまち・幸

■子育て支援が充実したまち幸

- ・地域で子育てを助け合う風潮があり、たくさんの地域住民やボランティアの協力により恵まれた子育て支援環境が整っている。
- ・子育て支援センター、こども文化センターが充実しており、子育てについて相談しやすく、同世代の子どもを持つ親同士の交流が生まれる。各子育て支援センターで独自性を持った取り組みが展開されている。
- ・おこさまっぷを代表とする子育て情報発信が充実している。
- ・子育て支援にかかわる職員、地域住民、ボランティア等の人と人とのつながりが強い。
- ・上記のことから区内ではどこでも安定して高いサービスを受けることができる。

<加筆修正内容>

■子どももおとなも、動物や自然にふれあったり、思いっきり遊べるまち幸

- ・夢見ヶ崎公園は無料で身近に動物を見たり触れ合えるほか、歴史的な資源が多く、幸区の歴史を学ぶこともできる。また大きな広場で安心して思いっきり遊ぶことができる。
- ・御幸公園は梅や多摩川の雄大な景観を楽しめるほか、大きな広場でも思いっきり身体が動かせる。
- ・南河原公園は充実した遊具がある広い公園であり、子どもが自由に遊べるほか、春の桜がすばらしく、木陰がたくさんあるなど、休んだり憩うことができる。
- ・上記の特徴的で大きな3大公園があることで、親子が楽しく安心して遊ぶことができる。
- ・市民グループが実施しているプレーパーク、おでかけぽかぽかなど、市民と行政の協働により子どもが思いっきり遊べる場所が提供されている。

<加筆修正内容>

■文化と商業が充実したまち幸

- ・ミュージア川崎のような一流の音楽を鑑賞できる施設や、東芝未来科学館や慶應義塾大学K2キャンパスの子ども向けイベントなど、一流の文化や科学にふれあえる場が身近にあり、子どもの情操教育などによい。
- ・大型の商業施設が充実しており、生活の利便性が非常に高い。

<加筆修正内容>

魅力発信に向けた今後の調査審議について

1. 今後の調査審議について

- ・ 今後は、先に検討された「発信する幸区の魅力」を、効果的に対象（ターゲット）へ伝える方法を検討する必要があります。
- ・ これまで実施したアンケート調査でも、「普段、生活するうえで必要な情報を、どのような方法で得ていますか」という質問を行っていますが、この調査では、「必要で、興味を持っている情報」を積極的に取得するための方法についての質問となっていると考えられ、現在部会で発信しようとしている、「まだ知られていない、興味を持つに至っていないような情報」を受け取る方法などについては調査ができていないと考えられます。
- ・ 「区民会議による子育て世代に向けた区の魅力発信」を行う上で効果的な方法を検討するため、発信する魅力を確認できたこのタイミングで対象となる世代の人に調査を行うことも必要だと考えます。

<対象（ターゲット）>

- ・ 区内在住の子育て世代（30代～40代）
 - 子育て世代にPRすることにより、その子どもや親世代に伝わることを期待できる。

2. 調査審議内容について

（1）対象が受け取りやすい情報発信の方法について

- ・ 対象が受け取りやすい情報発信の方法を検討するため、他都市の事例を調べることや、実際に対象となる人々から意見を聞きながら検討することが考えられます。

（2）発信した情報を受け取りやすい場所などの把握

- ・ 情報を効果的に発信するためには、発信した情報を受け取りやすい場所や対象となる人が多く集まる場所を把握することが必要であると考えられます。

3. 調査方法について

- ・ 調査の方法としては、再度、アンケートを配付する方法なども考えられますが、ヒアリング調査の実施ができれば、対象者に部会の取組等も説明でき、調査の趣旨や、質問の意図等をよりの確に伝えたいうえで回答を得られると考えます。また、イベント等で調査を実施することができれば、区民会議自体のPRもできると考えられます。

- ・今後、対象者が多く集まりヒアリング調査が実施可能なイベントとして、10月7日（土）、8日（日）に幸区民祭が開催予定となっています。なお、区民祭で調査を実施する場合にはブース等においてボードやシール等を用いた方法が考えられます。
- ・魅力を効果的に発信するための調査について、実施の必要の有無や、実施する場合の方法等について、今回と次回（9月19日）の部会において確認をお願いします。

調査項目（例）

区民会議「魅力発信でつなぐまちの活性化部会」では、子育てをしている世代の皆さんがずっと幸区に住み続けたいと思っていただけるよう、幸区の魅力を発信していきたいと思っています。幸区の魅力を効果的に発信するため、以下の項目をヒアリングさせていただきたいと思いますのでご協力をお願いします。

- ① 区の子育て関係の魅力などを発信したいと思いますが、どのような形での情報発信が一番受け取りやすいと感じますか。

[]

例：○ 広報誌、情報誌、チラシなどの配布 ○ ホームページや SNS による発信
○ イベント等における周知 ○ 公共施設等での掲示

- ② 区の魅力について広報誌、情報誌、チラシなどで配布する場合にはどのような場所が受け取りやすいと感じますか。特に具体的な場所があればお答えください。

[]

例：○ 区役所、図書館等の公共施設 ○ 幼稚園・保育園・学校
○ 子育てサークル、子育てサロン等の地域の子育て支援の場
○ 子育て支援センター、こども文化センター等の子育て支援施設
○ スーパー、コンビニ等の民間商業施設

- ③ 部会では幸区魅力を「充実した子育て環境と支援、文化・商業が身近にある最幸のまち・幸」ととらえています。幸区の子育て世代として具体的に魅力と感じているものがあればお答えください。

[]

第6期幸区区民会議（第4回）における部会報告内容について（案）

1 報告の内容骨子

(1) アンケート分析調査、現地調査等の報告

- ① 「子育てフェアさいわい」「保育園保護者」「幸区子ども会連合会」「幸区PTA協議会」を通じて行ったアンケートの分析内容
- ② 「区内三大拠点公園」「子育て支援センターかんがるーとさいわいふるさと公園（おでかけぽかぽか）」について、現地調査の内容を報告する。

(2) これまでの調査審議の結果を踏まえた今後の取組の方向性について、次の2点を報告

- ① 発信していく地域の魅力を「子育て環境」「子育て支援」「文化と商業が充実したまち」の3つの要素からなる「充実した子育て支援環境と支援、文化・商業が身近にある最幸のまち・幸」を仮説として発信することとし、今後の調査審議の中でより発信内容に具体性を持たせていく。
- ② 今後の調査審議の中で発信方法について事例収集等の調査を行い、効果的な魅力の発信方法を検討する。

2 報告者

《報告者》 _____ 委員

※ 第3回企画運営会議（8月31日（木）18:30～）に出席できる委員が望ましい。